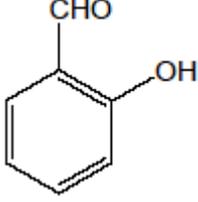


既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001-50	官報公示 整理番号	3-2660, 3-1183 (化審法) 1-104 (化学物質管理促進法)	CAS 番号	90-02-8
名 称	サリチルアルデヒド 別名：2-ヒドロキシベンズアルデヒド、2-ヒドロキシベンゼンアルデヒド		構 造 式		
分子式	C ₇ H ₆ O ₂		分子 量	122.12	
市場で流通している商品 (代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : サリチル酸 添加剤又は安定剤 : 無添加					
物理・化学的性状データ 外 観 : 無色液体 ²⁾ 融 点 : -7°C ²⁾ 沸 点 : 197°C ²⁾ 引 火 点 : 90°C ³⁾ 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : d ₄ ²⁰ 1.1674 ²⁾ 蒸気密度 : 4.21 (空気 = 1) 蒸 気 圧 : 78 Pa (0.593 mmHg) (25°C) ²⁾ 分配係数 : log Pow ; 1.81 (実測値)、2.01 (計算値) ⁴⁾ 加水分解性 : 加水分解を受けやすい化学結合なし 解離定数 : pKa = 8.28 ⁵⁾ スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 122 (基準ピーク, 1.0)、121 (0.95)、65 (0.31) ⁶⁾ 吸脱着性 : 文献なし 粒度分布 : 該当せず 溶解性 : サリチルアルデヒド/水 ; 17 g/L (86°C) ²⁾ アルコール及びエーテルに混和、アセトン及びベンゼンに易溶 ²⁾ 換算係数 : 1 ppm = 5.08 mg/m ³ (気体, 20°C) 1 mg/m ³ = 0.197 ppm					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質はバラ科の植物など天然物中に見出される成分であり、香粧品原料として用いられている。

ヒトでは、2%濃度の経皮適用で刺激性を示さず、感作性はみられていない。

実験動物では、中等度の皮膚刺激性を有すると報告されている。感作性に関する報告はない。急性毒性は強く、経口反復毒性では、肝臓、脾臓、腎臓に影響がみられている。変異原性・遺伝毒性試験では *in vitro* 染色体異常試験で陽性の報告があるが、発がん性に関する報告はない。なお、*in vivo* の翅毛スポット試験では陰性と報告されている。生殖発生毒性試験では母動物に影響のある用量において新生児の生存率の低下がみられている。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されやすく、大気中でも速やかに分解されると予想される。環境省のモニタリングデータはない。水圏環境生物に対する急性毒性は、甲殻類及び魚類に対しては強く、水圏生態系に対する影響は大きい。

2) 指摘事項

- (1) 実験動物で肝臓、脾臓、腎臓への影響が報告されている。
- (2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社) 日本化学工業協会調査資料 (2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank (HSDB), U.S. National Library of Medicine (2001).
- 3) 13901 の化学商品, 化学工業日報社 (2001).
- 4) KowWin, ver 1.66, Syracuse Research Corporation (2001).
- 5) (財) 化学品検査協会, 化審法の既存化学物質安全性点検データ (1996).
- 6) NIST Library of 54K Compounds (1998).